

江波中学校スクールカウンセラーだより 12月号

スクールカウンセラー かわもと 河本 はじめ 肇

今年も残すところ、あと1か月となりました。政治の世界では、行政刷新会議の事業仕分けが行われました。予算の必要性の検討がなされ、世間の注目を浴びました。中身は違うものの、スクールカウンセラーとして、自分は生徒指導上の諸問題にどれだけのサポートができたのか、何が足らなかったのかと振り返らねばならないと、思うこの頃です。

カウンセリング豆辞典 其の四十六

『疾病利得』

精神的な問題をかかえたとき、私達はそれをさまざまな形で解決しようとしします。そのひとつに、疾病利得というものがあります。

病気になることで、利得＝利益がある、ということです。その病気がぐずついたりすることで、「だって、私って××病なんだから」といって自分の体面を保つことができたり、あるいははしたくない嫌なことから逃れることができたり、周りの人からいたわってもらえるという循環が生じます。これは子どもであろうが大人であろうが生じます。学校を初めとして、いろいろな場面で見受けられるものです。

このような悪循環のスパイラルを断ち切るためには、表面的な現象にとらわれるのではなく、その人の心の背景をしっかりと把握すること、そして、よいスパイラルを生み出すための関わりを実践することが大切になってきます。

スクールカウンセラー 12月の相談日は、

**4日（金）、10日（木）、11日（金）、18日（金）、
24日（木）25日（金）の 6回です。**

（電話予約が必要です）

相談の場所は、第1校舎3階のカウンセリングルームです。

相談を希望される保護者の方は、江波中学校（232-1465）あるいはスクールカウンセラー専用電話（232-1468：相談日のみ）に電話でご予約下さい。